



東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

プロバスだより

第163号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2009年6月11日発行

編集・発行：情報委員会

2008～09年度テーマ

『学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて』

- ・日時：平成21年5月14日（木）
- ・場所：車中例会 野外サロン合同
1号車：一般会員 2号車：PC会員
- ・出席者：出席：43名（pc会員）

1. 多村例会委員長の司会で開催



去る4月25日午前9時55分にお亡くなりになりました、松尾信一郎会員を悼んで黙とうをいたしたいと存じます。

2. 黙とう

3. 下山副会長挨拶（矢島会長は1号車に乗車）



松尾さんのご逝去に関して、尊敬し親しくクラブライフを共にしてきた仲間を失って、全く言葉もなくなつただ、深く哀悼の意を捧げるのみで御座います。

さて今日は一日快晴で、さわやかな日が予想されています。今年の学習サロンの成功を象徴するように感じます、皆さんにとって本当に良い一日になることが約束されたようですね。皆さんにとっても朝早いご集合で大変でしたでしょうが、それに況して地域奉仕委員会を中心に、準備をしてこられた方々には真にご苦勞様でした。たとえば新型ウィルスの状況によっては、どうなるか、緊急の対策、連絡方法まで含めて体制を作って準備されました。改めて深く皆さんと共に、感謝を申し上げまして、かつ今日の事故なく成功裡に過ごせるよう皆さんで努めましょう。今日の見学は日頃我々の見る機会の少ないところを案内いただけるので、期待ですこし少年時代に帰ったようなわくわくするような気分です。

さて只今からは、東京八王子プロバスクラブ第163回の車中例会です。皆様もたびたびこの様な車中例会はやっていて慣れてきていますが、今日も一つ手際よく進めていただいて、かつ必要事項はしっかりとお聞きになって下さい。それでは例会委員長始めて下さい。以上で挨拶とします。

4. 議事

(1) 幹事報告



1. 次回例会（6月11日）は定期総会・懇親会がありますの16:00開始になります。

2. 5月17日（日曜日）は「市民健康の日」で、健康フェスタと

称して、イベントがあります。プロバスクラブからも手伝いに参加します。当日、11時から富士森公園の陸上競技場で元オリンピック選手4人のトークショーがあり、立川会員も挨拶で出演するそうです。

(2) 各委員会報告

特になし。地域奉仕は別途報告

(3) 同好会報告

・歴史の会（幹事 荒会員）

第15回「歴史を肴に語ろう会」のご案内

日時：6月18日（木）午後2時30分～5時

場所：八王子労政会館 第6会議室

講師：宮崎浩平（当PC元会長）

内容：「源頼朝の鎌倉幕府創設への道」

終了後、「日本海庄や」で5時30分より懇親会が開催されます。

今後の予定ですが、秋口に鎌倉の街を散策する計画もしていますのでご期待ください。

・ゴルフ同好会事務局（代表 永井会員）

第17回ゴルフコンペ結果報告

日時：4月24日（金）

場所：GMG八王子ゴルフ場

春のゴルフコンペが開催された。

参加者は12名、3組。曇天ではあったが、暑くもなく寒くもなく、絶好のゴルフ日和となり全員楽しくラウンドを終了した。長老の渋谷会員も無事に18ホールを回りきり、体力に自信をつけたようである。ベストグロス78の矢島会長は、最終ホールでバーディパットをはずし、惜しくもエイジシュートを逃した。

・成績 優勝：小林時雄 準優勝：矢島一雄

第三位：佐々木正

次回は9月開催を予定しています。

以上

（例会前に永井会員より資料提供）



(ゴルフ同好会Xバー写真提供 永井会員)

5. 閉会の挨拶 (矢崎幹事代行)

好天に恵まれました。朝は少し寒かったのですが、日中は気温も上がり、快適な日になりそうです。一日皆様と楽しく過ごせると思います。以上です。

野外サロン

サロン概要

八木地域奉仕副委員長

新型インフルエンザに対しまして、私共は大変気を遣いまして、連休中も京王バスに出かけたりして、万が一にも行政側から、「人の集まる場所を避けるように」との注意勧告でもでたらどうするかなど事前に協議しました。幸いにもそうした事態にならず、ほっとしたところです。このように目に見えない苦勞が今回はございました。もうひとつ心配しました天気も、お陰様で爽やかな天候に恵まれました。参加人員ですが、**会員が42名 一般会員は51名**です。

今回の川崎選定の理由は、東京・横浜は皆様よくご存じの場所ですので、その間にある川崎にスポットを当ててみました。初詣では、全国3番目といわれる川崎大師(真言宗智山派の大本山である。高尾山薬王院、成田山新勝寺とともに関東三本山の一つ)の門前町としての一面、もう一つは東海道の宿場町(川崎宿)として、そして近代になると京浜工業地帯の中核の街としての顔があり、その街を囲むように広がる住宅地・田園地帯が織りなす不思議な一帯を探索していきたいと思います。

⇒訪問の第一は、**味の素川崎工場**です。

(資料配布)

⇒訪問の第二は、**川崎大師**です。ここで精進料理の昼食をとります。食後、仲見世など観てまわってください。

しんしゅうえん

⇒**瀋秀園**(川崎市と中国瀋陽市の友好都市提携5周年記念の中国庭園)を散策していただきます。

⇒**ラ チッタデッラ**(イタリアの丘の上に来た城郭都市を模した商業施設)を見学します。

⇒**生田緑地**(川崎地区最大の緑地であり、ここに、日本民家園・バラ園・岡本太郎美術館などが緑豊かな庭園の中に在ります)夕方になり、施設は終了していると思います。一度機会あれば訪ねてください。

⇒**八王子駅南口 18時**

写真で見るきょう一日



1号車(一般)
2号車(PC)の2台
で7時20分八王子を
出発しました。

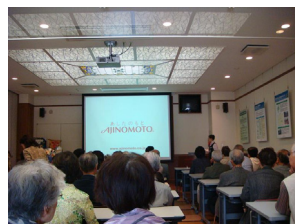


車中例会(一般会
員の一部同乗)

石川PAで小休止



踏切を渡ると**味の素川崎工場**のゲートがあります。



味の素工場内で概要説明



場内は専用バスで移動

Q1売上UPの目的で「味の素」の穴を大きくした話は本当ですか？

A1よくある質問で敢て否定はしませんが、湿気で穴周辺が塞がるのを防止して少し大きくしています。

Q2化学調味料と云うと、どうしても化学薬品が入っているように思えるが？

A2化学調味料はNHKが商品名を出せないのにつけた名前で、それが独り歩きしているようです。サトウキビの糖を発酵させて作っています。現在は**うま味調味料**と云っています。

Q3味の素の摂りすぎは塩分の摂りすぎにならないか？

A3塩化ナトリウムと味の素のL-グルタミン酸ナトリウムと似ているので誤解されますが、**塩分ではありません**。逆に、塩分を抑えめにさせる効果があります。

・ この他、**マヨネーズ戦略**についての質問や、**環境等への配慮**などプロバス会員らしい鋭い質問も出されました。



「ほんだし」工場の和風造りの入口 鰹節の匂いが立ち込める。ダシの有無による味噌汁の試飲もありました



サトウキビの糖を発酵精製したグルタミンの入った味の素の小瓶（右）と同じ旨味を出すに必要な昆布の塊（左）（資料展示室にて）

川崎大師



仲見世 のど飴・葛餅



八角五重塔



信徒会館内で昼食
信徒ではないが特別メニュー坊入膳をいただく

中国庭園で写真



瀋秀園の池



ラチャゲッ

城壁都市のイメージが強く、入ってみると意外とこじんまりした商業施設でした。首都圏最大の映画館があるなど、夜は、情景が一変するでしょう。



生田緑地：小休止
日本民家園閉館でゲートからの風景一度ゆっくりと訪ねたいところ。

18時には全員無事八王子南口に到着しました。

投稿

駅近辺

会員 野末孝雄

伊勢丹から始まったデパートの八王子進出は数店開店したが、現在「そごう」が駅ビルに残って一人天下の様相である。しかし、お陰様で八王子も都市として見られる事になった。何故他のデパートは去っていったのか？ 総ては、売り上げが予想より少なく、事実として営業できない故でこれもデパート商法の一つではないか。あの天下の三越が伊勢丹と合併して、余り時の経たぬのに、四店舗閉鎖を発表した。何処も厳しい風が吹くまま進まなければならない状況である。今の八王子は、駅を中心に旭町・東町が枝を伸ばすように駅から伸びて20号に着いている。駅ビルが建たない頃は漠然とした通りで、商店もマバラな通りであった。現在は高層建築の立ち並ぶ商店通りで、その道路も、いつか東町の町会長が自慢していた、横浜に似た造りで、都市の商店通りにしては広くない好ましい道路幅に洒落た商店がビッシリと並んで往時を思うと嘘のような商店道路である。その昔この商店会が、八王子商店連盟と云う商業団体の盆と暮れの売出しに参加するのだがあまりに成績が悪いので時の商店会長はいつも情けない顔で気の毒だった。栄枯盛衰というが、今の街の姿を亡き会長に一目見せてやりたい賑やかさだ。これによって商業地区の地形が変わって、所謂、上(かみ)の方は西に行く程衰れになり、西八王子駅近くになるとスーパーも建設中であり状況は再び変わって行く、やはり駅中心である。20号の通りに在った書店は今は八王子駅近辺に大型書店四店、西八王子駅に三店になっている。驚くように商店の構成は変わって行く。今20号沿いに営業している店は将来生きて行くには、本業とは別に貸家を持つか駐車場の5台（最低）位の所有者でなければ営業は余程の努力をしなければ続けるのは難しい。それでも私が調べた処、別表（略）のように古い創業の方（明治より前）がいまでも八王子の商店として頑張ってる姿は貴いものです。（次ページ写真参照）

商売は簡単なようでむずかしいものです。又大変な仕事です。これからの商魂に期待しよう。

注）エルシィの八幡町交差点を境に、追分方向を上、八日町方向を下と呼ぶ。上には多賀神社、下には八幡八雲神社がある。

編注）この投稿は本年2月にいただきました



大正5年の加島屋三店の一つ 現在残る加島屋荒物

左写真「大正5年の八王子大商店」 多摩文化臨時増刊号より

投稿

警察・消防・救急活動について思う

会員 多村繁樹

私は常日頃、警察・消防・救急活動にはいつも頭が下がる思いをしている。彼らは365日、24時間、いつでも出動出来る体制が組まれている。私共のホテルもそうだが、その為には当然それ相当のコストがかかる。しかし、我が日本国民は、コストはゼロ位位だと思っているのではないか。これからの社会はますます、安心安全というコストが、少子高齢化社会とも相俟ってのし掛かってくる。私はロータリー活動の中で、社会貢献、環境保全、青少年育成奉仕活動を親睦活動とともに大いに力を入れてきた。東京西北ロータリークラブの50周年記念式典の社会貢献委員長として、新宿消防署にポンプ車搭載の車を寄贈した。海外貢献的なもの、地震対策的なもの等、アイデアを出したが、今一番必要なものは何かというと、この車でした。どこの消防団も持っているのは手押しポンプ車という現状で、水被害出場も多く、また団員の高齢化もあって手押しでは効率が悪い、しかも新宿消防団にはポンプ車搭載車が1台しかなく、予算の関係で20年先にしか導入されないという話を聞き、2台寄贈した。(右写真)

私事ですが、12月31日という年末の忙しい中で、2回も私の父親の救急車要請をしました。都心部なら、スムーズに対応できなかったのではないかと思います。警察、防災、救急活動に従事する彼らの活動に、我々が日常のんびりと安心して生活しているのも、彼らあっての事とつくづく感じた。公共的な活動だから当然だ!!とか、お上意識の強い国民性で、何でも国が悪いでは困る。しかも、コスト(税金増)はゴメンだと言うのはおかしい。勿論、政治へ

の不信、特にキャリア官僚の渡り問題には大いに鉄槌を加えるべきだと思う。政治・行政の無駄遣い、公務員制度改革、そして経済対策として国民の多くが疑問に思っている給付金問題等で国会が大いに紛糾し、肝心の経済対策が遅れ、モタモタしているのは愁える。マスコミは売らんかな主義ではなく、大々的に真つ当な議論、キャンペーンをもっと繰り広げて欲しい。田母神問題も、彼がクビになった理由が侵略国家とかいう事でなく、立場ある人が、そしてその歴史観が本当に正しいのかどうかであって、自虐的とか、謀略とかでなく、中国とか米国にきちんと物が言え反省するべきところは反省し、きちんと物が言える国家となることなのに、肝心の議論がなされなかった。

これらのことは、国民、つまり我々の側に大いに問題がある。つまり俺は知らん、関係ない、かかわりたくないという無責任だ。裁判員制度についてもそうだ。難しい問題にはかかわりたくない、生活さえ出来れば良い、余計な事にはかかわりたくない。それでいて、自分の利害得失になると、国は何をしていると批判し屁理屈を言う。こういう意識に問題がある。宗教上、哲学上の信条があるかも知れないが、だからこそ、真摯に立ち向かうべきではないか。先進国のどこも、若干の違いはあるが、裁判員制度に近いものは導入されている。せいぜい一審までの刑事裁判である。韓国と違い5年間のシミュレーションを行ってきた。我々は社会から逃げずに生きていかなければならない。そして我々一般庶民が唯一きちんと責任をもって意思表示が出来るのは選挙だ。その為の勉強を常日頃から怠ってはならないほど、今の世の中は油断が出来ない。嘆かわしい。

編注) この投稿は本年2月にいただきました



寄贈したポンプ車 写真提供: 多村会員

編集後記: 地域奉仕委員の皆様お疲れ様でした。楽しい一日でした。野外例会も研修例会も何故かウキウキしますネ。情報委員は、今、サロン冊子作りに天手古舞